

LM・ブラジル高配当株ファンド (毎月分配型)

運用報告書 (全体版)

第67期	決算日	2016年8月23日
第68期	決算日	2016年9月23日
第69期	決算日	2016年10月24日
第70期	決算日	2016年11月24日
第71期	決算日	2016年12月26日
第72期	決算日	2017年1月23日

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	平成23年1月24日～平成33年1月25日まで	
運用方針	主にブラジルの証券取引所に上場している株式に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「LM・ブラジル高配当株マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ブラジル高配当株マザーファンド	ブラジルの証券取引所に上場している株式を主要投資対象とします。
組入制限	株式への実質投資割合には、制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎月23日。休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	

当報告書に関するお問い合わせ先：

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

お問合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「LM・ブラジル高配当株ファンド（毎月分配型）」は、2017年1月23日に第72期の決算を行いましたので、第67期、第68期、第69期、第70期、第71期、第72期の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

<http://www.leggmason.co.jp>

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		株組入比率	株式先物比率	純資産額
		税分 配	み騰落 率			
	円		円	%	%	百万円
43期(2014年8月25日)	7,219		80	△0.1	97.0	8,763
44期(2014年9月24日)	6,682		80	△6.3	93.7	7,396
45期(2014年10月23日)	6,096		80	△7.6	97.1	6,801
46期(2014年11月25日)	6,766		80	12.3	94.2	7,539
47期(2014年12月24日)	6,093		80	△8.8	94.6	6,767
48期(2015年1月23日)	6,189		80	2.9	95.2	6,996
49期(2015年2月23日)	5,607		80	△8.1	96.2	6,349
50期(2015年3月23日)	4,957		80	△10.2	94.7	5,660
51期(2015年4月23日)	5,447		80	11.5	95.2	6,740
52期(2015年5月25日)	5,161		80	△3.8	92.3	6,456
53期(2015年6月23日)	5,044		80	△0.7	95.0	6,423
54期(2015年7月23日)	4,676		80	△5.7	95.2	6,123
55期(2015年8月24日)	3,870		80	△15.5	95.8	5,161
56期(2015年9月24日)	2,981		80	△20.9	94.4	3,944
57期(2015年10月23日)	3,310		40	12.4	90.2	4,403
58期(2015年11月24日)	3,587		40	9.6	95.5	4,617
59期(2015年12月24日)	3,071		40	△13.3	95.9	3,783
60期(2016年1月25日)	2,602		40	△14.0	94.7	3,145
61期(2016年2月23日)	2,759		40	7.6	93.4	3,327
62期(2016年3月23日)	3,363		40	23.3	97.1	3,989
63期(2016年4月25日)	3,401		40	2.3	94.6	4,056
64期(2016年5月23日)	3,253		40	△3.2	96.2	3,885
65期(2016年6月23日)	3,185		40	△0.9	96.2	3,786
66期(2016年7月25日)	3,723		40	18.1	95.4	4,364
67期(2016年8月23日)	3,511		40	△4.6	94.0	3,908
68期(2016年9月23日)	3,562		40	2.6	96.0	3,874
69期(2016年10月24日)	3,791		20	7.0	93.4	4,095
70期(2016年11月24日)	3,480		20	△7.7	89.7	3,632
71期(2016年12月26日)	3,637		20	5.1	89.9	3,673
72期(2017年1月23日)	3,963		20	9.5	92.3	3,880

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 株式先物比率は買建比率-売建比率。

(注4) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
			騰 落 率	騰 落 率		
第67期	(期 首) 2016年 7月25日	円	%	—	%	%
	7月末	3,723	—	—	95.4	—
	(期 末) 2016年 8月23日	3,616	△2.9	—	96.1	—
第68期	(期 首) 2016年 8月23日	3,551	△4.6	—	94.0	—
	8月末	3,511	—	—	94.0	—
	(期 末) 2016年 9月23日	3,624	3.2	—	92.6	—
第69期	(期 首) 2016年 9月23日	3,602	2.6	—	96.0	—
	9月末	3,562	—	—	96.0	—
	(期 末) 2016年10月24日	3,472	△2.5	—	95.3	—
第70期	(期 首) 2016年10月24日	3,811	7.0	—	93.4	—
	10月末	3,791	—	—	93.4	—
	(期 末) 2016年11月24日	3,764	△0.7	—	92.9	—
第71期	(期 首) 2016年11月24日	3,500	△7.7	—	89.7	—
	11月末	3,480	—	—	89.7	—
	(期 末) 2016年12月26日	3,462	△0.5	—	89.0	—
第72期	(期 首) 2016年12月26日	3,657	5.1	—	89.9	—
	12月末	3,637	—	—	89.9	—
	(期 末) 2017年 1月23日	3,748	3.1	—	90.6	—
		3,983	9.5	—	92.3	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

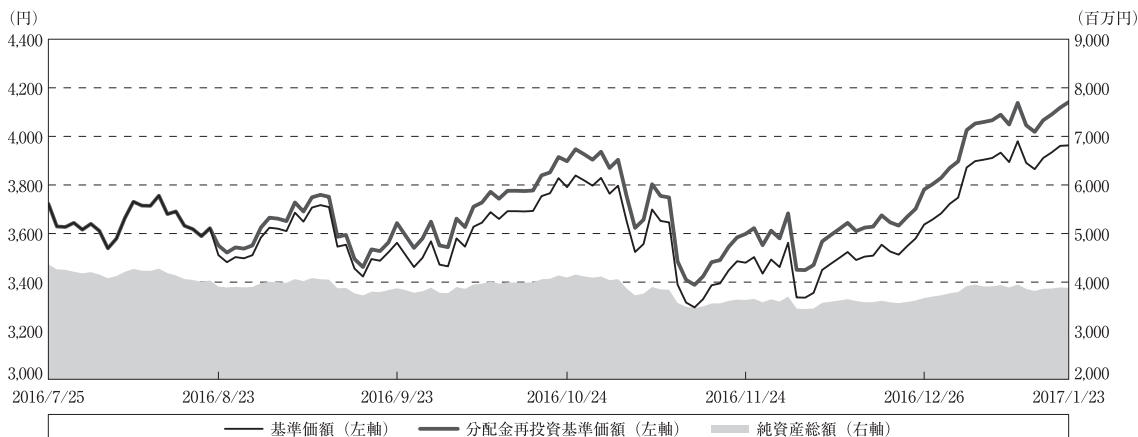
(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2016年7月26日～2017年1月23日)



第67期首：3,723円

第72期末：3,963円 (既払分配金 (税込み)：160円)

騰落率：11.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2016年7月25日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当作成期末 (2017年1月23日) のLM・ブラジル高配当株ファンド (毎月分配型) (以下、当ファンド) の基準価額は3,963円 (分配金控除後) となりました。当作成期の当ファンドのパフォーマンス (騰落率) はプラス11.2% (分配金再投資ベース)、基準価額は400円 (分配金込み) 上昇しました。株式要因、為替要因がともにプラスに寄与しました。

当作成期のブラジル株式市場は上昇しました。

期の前半は、原油価格の上昇や、職務停止となっていたルセフ大統領の失職が正式に決定されたことなどを背景に、株式相場は底堅く推移しました。また、ブラジル中央銀行(BCB)による利下げ期待が浮上したことなども株価の下支え要因となりました。

期の半ばは、テメル政権による経済・財政運営に対する期待感が高まったことなどから、株式相場は上昇基調となりました。さらに、BCBが2016年10月に4年ぶりとなる利下げを決定したことも、株価を押し上げました。その後は、米大統領選挙で事前の予想に反しトランプ氏が勝利すると株価は一時急落しましたが、トランプ次期政権による景気拡大策への期待感から米株式市場が上昇すると、ブラジルの株価も持ち直す展開となりました。

期の後半は、ブラジル国内の政局の不透明感に加え、米国の2017年の利上げペースが予想より速まる可能性が浮上したことなどから投資家のリスク回避姿勢が強まり、株価は軟調となりました。しかしその後、米株式市場の上昇や、BCBによる追加利下げなどを好感し、株価は反発しました。

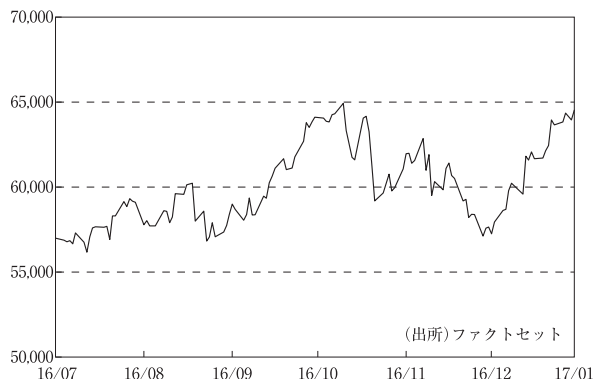
当作成期のブラジルリアル・円相場は、リアル高・円安となりました。

期の前半は、BCBによる利下げ期待が後退し、リアル買い・円売りが一時優勢となりましたが、その後はBCBがリアル売り介入を継続したことや、BCBによる利下げ観測が浮上したことなどから、リアルは上値の重い展開となりました。

期の半ばは、ブラジル地方選挙で連立与党が躍進し、テメル政権の経済・財政運営にプラスとの見方が広がったことから、リアルは対円で上昇しました。原油価格が上昇し、リスク回避姿勢が和らいだことも、リアル買い・円売りを促す要因となりました。しかしその後は、原油価格が下落に転じたことなどから、リアル売り・円買いが優勢となりました。

期の後半は、米大統領選挙の結果を受けて米国国債利回りが大きく上昇し、新興国資産から米国資産への資金流出懸念が浮上したことなどから、リアルは対円で下落しました。しかしその後は、BCBがリアルを下支えする為替介入を実施したことや、原油価格が上昇したことなどから、リアル買い・円売りが強まる展開となりました。

ブラジルボエスバ指数の推移



ブラジルリアル／円レートの推移



当ファンドは「LM・ブラジル高配当株マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジルの証券取引所に上場している株式に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めます。また、組み入れ外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当作成期においては、高水準の配当利回りが期待できるブラジル株式への投資を行いました。

分配金につきましては、基準価額動向や保有株式の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
	2016年7月26日～ 2016年8月23日	2016年8月24日～ 2016年9月23日	2016年9月24日～ 2016年10月24日	2016年10月25日～ 2016年11月24日	2016年11月25日～ 2016年12月26日	2016年12月27日～ 2017年1月23日
当期分配金 (対基準価額比率)	40 1.126%	40 1.110%	20 0.525%	20 0.571%	20 0.547%	20 0.502%
当期の収益	18	2	7	3	20	7
当期の収益以外	21	37	12	16	—	12
翌期繰越分配対象額	898	860	848	831	839	827

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

ブラジル経済については、ブラジル政府の歳出上限法案が上院で可決されるなどテメル政権による財政改革推進が、景気を下支えすると予想されます。今後は、年金改革法案の審議に注目が集まります。また、BCBがインフレ率の鈍化を背景に利下げを継続すると予想されることも、景気にプラスと見込まれます。

金融政策については、BCBは2017年1月の金融政策決定会合において、政策金利の0.75%引き下げ（13.75%⇒13.00%）を決定しました。インフレ見通しの改善や議会での財政改革審議の進展を受けて、BCBは緩和姿勢を継続するものと予想されます。

為替市場については、ブラジルの財政改革の進捗に加え、原油価格の安定などが、リアルをサポートするものと期待されます。また、ブラジルの景気に底打ちの兆しがみられている一方、日本では日銀が積極的な緩和姿勢を継続していることなどから、リアルは対円で底堅く推移することが予想されます。

株式市場については、政局のリスクは依然燻ってはいるものの、財政改革の進展や景気回復への期待感が、株式市場の牽引役となると予想されます。今後は、年金改革法案の審議に注目が集まります。また、BCBがインフレ見通しの改善を背景に利下げを継続すると見込まれることも、株価の下支え要因となると予想されます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年7月26日～2017年1月23日)

項 目	第67期～第72期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 34	% 0.953	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(17)	(0.458)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(17)	(0.458)	交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.038)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.110	(b)売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(4)	(0.110)	
(c) そ の 他 費 用	5	0.134	(c)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.110)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 等 費 用)	(1)	(0.017)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出 に係る費用
合 計	43	1.197	
作成期間の平均基準価額は、3,614円です。			

(注1) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年7月26日～2017年1月23日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第67期～第72期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
LM・ブラジル高配当株マザーファンド	千口 246,221	千円 207,889	千口 1,347,958	千円 1,153,100

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2016年7月26日～2017年1月23日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	第67期～第72期	
	LM・ブラジル高配当株マザーファンド	
(a) 当作成期中の株式売買金額	16,431,784千円	
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	13,743,542千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.19	

(注1) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2016年7月26日～2017年1月23日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2016年7月26日～2017年1月23日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2016年7月26日～2017年1月23日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2017年1月23日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第66期末		第72期末	
	口 数	千口	口 数	千口
LM・ブラジル高配当株マザーファンド	5,174,175		4,072,438	
				3,906,282

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2017年1月23日現在)

項 目	第72期末	
	評 価 額	比 率
LM・ブラジル高配当株マザーファンド	3,906,282	99.1 %
コール・ローン等、その他	35,602	0.9
投資信託財産総額	3,941,884	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) LM・ブラジル高配当株マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(16,949,385千円)の投資信託財産総額(17,514,443千円)に対する比率は96.8%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、1月23日における邦貨換算レートは、1ブラジルレアル=35.89円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第67期末	第68期末	第69期末	第70期末	第71期末	第72期末
	2016年8月23日現在	2016年9月23日現在	2016年10月24日現在	2016年11月24日現在	2016年12月26日現在	2017年1月23日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	3,978,219,843	3,928,331,679	4,125,817,404	3,680,048,879	3,719,944,305	3,941,884,444
LM・ブラジル高配当株マザーファンド(評価額)	3,959,484,633	3,924,351,570	4,124,017,203	3,659,732,806	3,699,507,419	3,906,282,868
未収入金	18,735,210	3,980,109	1,800,201	20,316,073	20,436,886	35,601,576
(B) 負債	69,755,990	54,003,406	29,961,993	47,499,285	46,812,502	60,989,888
未払収益分配金	44,524,075	43,504,616	21,610,049	20,877,307	20,201,373	19,583,743
未払解約金	18,735,210	3,980,109	1,800,201	20,316,073	20,436,886	35,601,576
未払信託報酬	6,343,201	6,364,310	6,395,603	6,154,494	6,020,438	5,658,928
その他未払費用	153,504	154,371	156,140	151,411	153,805	145,641
(C) 純資産総額(A-B)	3,908,463,853	3,874,328,273	4,095,855,411	3,632,549,594	3,673,131,803	3,880,894,556
元本	11,131,018,989	10,876,154,120	10,805,024,684	10,438,653,886	10,100,686,949	9,791,871,980
次期繰越損益金	△ 7,222,555,136	△ 7,001,825,847	△ 6,709,169,273	△ 6,806,104,292	△ 6,427,555,146	△ 5,910,977,424
(D) 受益権総口数	11,131,018,989口	10,876,154,120口	10,805,024,684口	10,438,653,886口	10,100,686,949口	9,791,871,980口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,511円	3,562円	3,791円	3,480円	3,637円	3,963円

<注記事項>

(注1) 元本の状況

当作成期首元本額	11,723,748,198円
当作成期中追加設定元本額	580,236,518円
当作成期中一部解約元本額	2,512,112,736円

(注2) 元本の欠損

純資産総額が元本額を下回っており、その差額は5,910,977,424円であります。

○損益の状況

項 目	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
	2016年7月26日～ 2016年8月23日	2016年8月24日～ 2016年9月23日	2016年9月24日～ 2016年10月24日	2016年10月25日～ 2016年11月24日	2016年11月25日～ 2016年12月26日	2016年12月27日～ 2017年1月23日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	△ 183,784,656	104,426,246	274,850,052	△ 295,500,458	185,469,566	344,507,931
売買益	4,359,158	109,711,328	279,272,450	7,084,060	189,759,593	355,221,039
売買損	△ 188,143,814	△ 5,285,082	△ 4,422,398	△ 302,584,518	△ 4,290,027	△ 10,713,108
(B) 信託報酬等	△ 6,496,705	△ 6,518,681	△ 6,551,743	△ 6,305,905	△ 6,174,243	△ 5,804,569
(C) 当期損益金(A+B)	△ 190,281,361	97,907,565	268,298,309	△ 301,806,363	179,295,323	338,703,362
(D) 前期繰越損益金	△2,478,178,339	△2,601,085,708	△2,474,016,358	△2,121,349,867	△2,316,098,192	△2,074,815,203
(E) 追加信託差損益金	△4,509,571,361	△4,455,143,088	△4,481,841,175	△4,362,070,755	△4,270,550,904	△4,155,281,840
(配当等相当額)	(1,022,997,961)	(976,815,368)	(929,738,560)	(885,241,194)	(840,207,459)	(814,823,046)
(売買損益相当額)	(△5,532,569,322)	(△5,431,958,456)	(△5,411,579,735)	(△5,247,311,949)	(△5,110,758,363)	(△4,970,104,886)
(F) 計(C+D+E)	△7,178,031,061	△6,958,321,231	△6,687,559,224	△6,785,226,985	△6,407,353,773	△5,891,393,681
(G) 収益分配金	△ 44,524,075	△ 43,504,616	△ 21,610,049	△ 20,877,307	△ 20,201,373	△ 19,583,743
次期繰越損益金(F+G)	△7,222,555,136	△7,001,825,847	△6,709,169,273	△6,806,104,292	△6,427,555,146	△5,910,977,424
追加信託差損益金	△4,532,960,500	△4,496,113,364	△4,495,284,023	△4,379,034,789	△4,270,550,904	△4,160,160,905
(配当等相当額)	(999,705,366)	(935,859,245)	(916,309,912)	(868,322,482)	(840,463,317)	(809,969,686)
(売買損益相当額)	(△5,532,665,866)	(△5,431,972,609)	(△5,411,593,935)	(△5,247,357,271)	(△5,111,014,221)	(△4,970,130,591)
分配準備積立金	-	-	-	-	7,324,735	-
繰越損益金	△2,689,594,636	△2,505,712,483	△2,213,885,250	△2,427,069,503	△2,164,328,977	△1,750,816,519

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の50相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益(費用控除後)	21,134,936	2,534,340	8,167,201	3,913,273	27,526,108	7,659,041
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	1,023,094,505	976,829,521	929,752,760	885,286,516	840,463,317	814,848,751
(D) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	7,045,637
分配対象収益額(A+B+C+D)	1,044,229,441	979,363,861	937,919,961	889,199,789	867,989,425	829,553,429
(1万円当たり収益分配対象額)	(938)	(900)	(868)	(851)	(859)	(847)
収 益 分 配 金	44,524,075	43,504,616	21,610,049	20,877,307	20,201,373	19,583,743
(1万円当たり収益分配金)	(40)	(40)	(20)	(20)	(20)	(20)

○分配金のお知らせ

	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
1 万口当たり分配金 (税込み)	40円	40円	20円	20円	20円	20円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◇分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。

分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

LM・ブラジル高配当株マザーファンド

運用状況のご報告

第6期 決算日 2017年1月23日

(計算期間：2016年1月26日～2017年1月23日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・ブラジル高配当株マザーファンド」の第6期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主としてブラジルの証券取引所に上場している株式を中心に投資を行います。 2. 主に配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。また、銘柄の流動性に配慮しながらポートフォリオを構築します。 3. 原則として外貨建て資産の為替ヘッジはしません。
主 要 運 用 対 象	ブラジルの証券取引所に上場している株式を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		株組入比率	株式先物比率	純資産額
		期騰	落中率			
	円		%	%	%	百万円
2期(2013年1月23日)	10,842		6.1	95.9	—	30,108
3期(2014年1月23日)	9,923	△	8.5	95.4	—	27,699
4期(2015年1月23日)	10,580		6.6	93.9	—	23,659
5期(2016年1月25日)	5,495	△	48.1	93.1	—	12,334
6期(2017年1月23日)	9,592		74.6	91.7	—	17,190

(注1) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注2) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		株組入比率	株式先物比率
		騰	落率		
(期首) 2016年1月25日	円 5,495		% —	% 93.1	% —
1月末	5,752		4.7	94.9	—
2月末	5,846		6.4	94.0	—
3月末	7,442		35.4	96.3	—
4月末	7,627		38.8	95.4	—
5月末	7,183		30.7	97.1	—
6月末	7,556		37.5	95.7	—
7月末	8,297		51.0	96.0	—
8月末	8,424		53.3	92.6	—
9月末	8,174		48.8	95.3	—
10月末	8,924		62.4	92.9	—
11月末	8,268		50.5	89.0	—
12月末	9,015		64.1	90.6	—
(期末) 2017年1月23日	9,592		74.6	91.7	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額の推移

(2016年1月26日～2017年1月23日)



○基準価額の変動要因

当期末（2017年1月23日）のLM・ブラジル高配当株マザーファンド（以下、当ファンド）の基準価額は9,592円となりました。当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラス74.6%、基準価額は4,097円上昇しました。株式要因、為替要因がともに大きくプラスに寄与しました。

ブラジル株式市場は上昇しました。

期の前半は、中国の追加金融緩和決定や原油価格の持ち直しなどを背景に、投資家のリスク回避姿勢が緩み、株式市場は上昇しました。さらに、ブラジル国内の汚職捜査を巡り、ルセフ大統領の弾劾や政権交代への動きが強まったことが好感され、株式市場は上昇基調となりました。

期の半ばは、米国の利上げペースが後退するとの見方や、テメル暫定政権による財政健全化やブラジル経済底打ちへの期待感が強まったことなどから、株式市場は強含みとなりました。また、原油価格の上昇や、インフレ率の鈍化とともにブラジル中央銀行（BCB）による利下げ期待が浮上したことなども株価の下支え要因となりました。

期の後半は、財政改革進展への期待感が高まったことや、BCBが2016年10月に4年ぶりとなる利下げを決定したことなどから、株価は上昇しました。その後、国内の政局不安が再燃したことや、米国の2017年の利上げペースが予想より速まる可能性が浮上したことなどから投資家のリスク回避姿勢が強まり、株価は軟調となりました。しかし、米国株式市場の上昇や、BCBによる追加利下げなどを好感し、株価は再び上昇基調となりました。

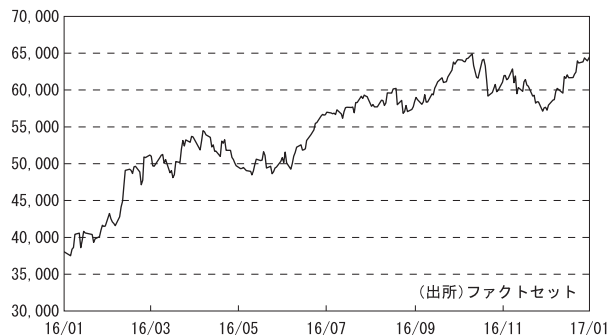
為替市場は、ブラジルレアル高・円安となりました。

期の前半は、中国の追加緩和決定や原油価格の持ち直しなどを背景に、投資家のリスク回避姿勢が緩み、レアル買い・円売りが優勢となりました。さらに、ルセフ大統領の弾劾へ向けた動きが進み、政権交代への動きが進んだことなどから、レアル買い・円売りが強まりました。

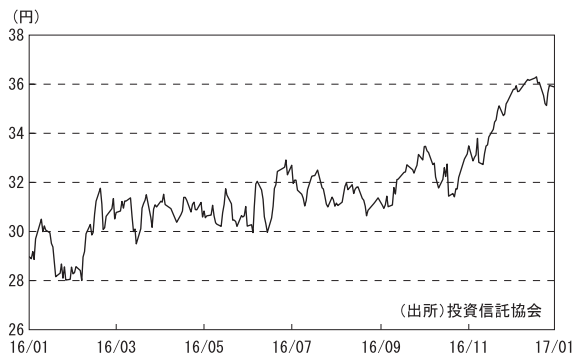
期の半ばは、英国の国民投票で欧州連合（EU）離脱が決定され、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、一時レアル売り・円買いが優勢となる場面がありましたが、テメル暫定政権による政策運営への期待感などから、レアルは強含みとなりました。その後は、BCBがレアル売り介入を継続したことや、BCBによる利下げ観測が浮上したことなどから、レアルは上値の重い展開となりました。

期の後半は、テメル政権による財政改革進展への期待感や、原油価格の上昇などを受け、レアル買い・円売りが優勢となりました。その後、米大統領選挙後に米国国債利回りが大きく上昇し、新興国資産から米国資産への資金流出懸念が強まったことから、レアルは対円で下落しました。しかし、BCBがレアルを下支えする為替介入を実施したことや、原油価格が上昇したことなどから、レアル買い・円売りが強まる展開となりました。

ブラジル・ボベスパ指数の推移



ブラジルレアル/円レートの推移



当ファンドは、主にブラジルの証券取引所に上場している株式に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めます。また、組み入れ外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当期においては、高水準の配当利回りが期待できるブラジル株式への投資を行いました。

○今後の運用方針

ブラジル経済については、ブラジル政府の歳出上限法案が上院で可決されるなどメル政権による財政改革推進が、景気を下支えすると予想されます。今後は、年金改革法案の審議に注目が集まります。また、BCBがインフレ率の鈍化を背景に利下げを継続すると予想されることも、景気にプラスと見込まれます。

金融政策については、BCBは2017年1月の金融政策決定会合において、政策金利の0.75%引き下げ（13.75%⇒13.00%）を決定しました。インフレ見通しの改善や議会での財政改革審議の進展を受けて、BCBは緩和姿勢を継続するものと予想されます。

為替市場については、ブラジルの財政改革の進捗に加え、原油価格の安定などが、リアルをサポートするものと期待されます。また、ブラジルの景気に底打ちの兆しがみられている一方、日本では日銀が積極的な緩和姿勢を継続していることなどから、リアルは対円で底堅く推移することが予想されます。

株式市場については、政局のリスクは依然燻ってはいるものの、財政改革の進展や景気回復への期待感が、株式市場の牽引役となると予想されます。今後は、年金改革法案の審議に注目が集まります。また、BCBがインフレ見通しの改善を背景に利下げを継続すると見込まれることも、株価の下支え要因となると予想されます。

○1 万口当たりの費用明細

(2016年1月26日～2017年1月23日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 20 (20)	% 0.265 (0.265)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	17 (17)	0.215 (0.215)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	37	0.480	
期中の平均基準価額は、7,709円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年1月26日～2017年1月23日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	ブラジル	百株	千ブラジルリアル	百株	千ブラジルリアル
		309,268 (13,961)	536,162 (3,796)	367,872 (347)	647,398 (10)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2016年1月26日～2017年1月23日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	38,024,952千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	14,077,858千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.70

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2016年1月26日～2017年1月23日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年1月23日現在)

外国株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(ブラジル)	百株	百株	千ブラジルリアル	千円	
CIA DE GAS DE SAO PAULO-PR A	3,648	3,370	15,864	569,377	公益事業
CIA DE TRANSMISSAO DE ENE-PF	—	4,685	30,664	1,100,537	公益事業
ITAUSA-INVESTIMENTOS ITAU-PR	54,469	47,130	43,029	1,544,343	金融
CIA SANEAMENTO DO PARANA-PRF	—	20,725	27,253	978,123	公益事業
CCR SA	12,998	—	—	—	資本財・サービス
TUPY SA	10,318	—	—	—	一般消費財・サービス
BANCO BRADESCO SA-PREF	10,662	13,534	42,661	1,531,129	金融
SUZANO PAPEL E CELULO-PREF A	8,205	—	—	—	素材
GRENDENE SA	—	7,914	14,103	506,182	一般消費財・サービス
IOCHPE-MAXION S. A.	—	8,173	10,527	377,828	資本財・サービス
ALPARGATAS SA - PREF	4,913	—	—	—	一般消費財・サービス
MAHLE-METAL LEVE SA	7,721	9,448	20,154	723,342	一般消費財・サービス
COSAN SA INDUSTRIA COMERCIO	—	5,806	23,381	839,160	エネルギー
VALID SOLUCOES SA	3,007	—	—	—	資本財・サービス
TRANSMISSORA ALIANCA DE-UNIT	10,810	9,746	21,441	769,524	公益事業
ODONTOPREV S. A.	19,938	—	—	—	ヘルスケア
EZ TEC EMPREENDIMIENTOS E PAR	8,873	—	—	—	一般消費財・サービス
TEGMA GESTAO LOGISTICA	5,983	—	—	—	資本財・サービス
BANCO ABC BRASIL SA	17,358	—	—	—	金融
HYPERMARCAS SA	—	6,562	17,764	637,554	生活必需品
BM&FBOVESPA SA	15,269	18,037	32,864	1,179,524	金融

銘柄	株数	当 期 末			業 種 等	
		株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(ブラジル)	百株	百株	千ブラジルレアル	千円		
MULTIPLUS SA	3,291	—	—	—	一般消費財・サービス	
TELEFONICA BRASIL S. A.	10,735	7,669	34,725	1,246,290	電気通信サービス	
QUALICORP SA	6,233	—	—	—	ヘルスケア	
CETIP SA-MERCADOS ORGANIZADO	5,295	—	—	—	金融	
DIRECIONAL ENGENHARIA SA	—	27,297	14,904	534,921	一般消費財・サービス	
ALUPAR INVESTIMENTO SA-UNIT	14,708	10,745	19,578	702,687	公益事業	
BB SEGURIDADE PARTICIPACOES	9,995	6,184	16,902	606,622	金融	
IOCHPE-MAXION S. A. -RIGHTS	—	2,924	128	4,618	資本財・サービス	
BANCO BRADESCO SA-RTS	347	—	—	—	金融	
AMBEV SA	21,740	10,640	18,460	662,562	生活必需品	
KLABIN SA - UNIT	—	8,653	14,130	507,138	素材	
AES TIETE ENERGIA SA-UNIT	20,904	14,210	20,790	746,154	公益事業	
BANCO ABC BRASIL SA RTS	1,017	—	—	—	金融	
合 計	株 数 ・ 金 額	288,449	243,460	439,331	15,767,624	
	銘 柄 数 < 比 率 >	25	20	—	< 91.7% >	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する株式評価額の比率。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2017年1月23日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	15,767,624	90.0
コール・ローン等、その他	1,746,819	10.0
投資信託財産総額	17,514,443	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (16,949,385千円) の投資信託財産総額 (17,514,443千円) に対する比率は96.8%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、1月23日における邦貨換算レートは、1ブラジルレアル=35.89円です。

○特定資産の価格等の調査

(2016年1月26日～2017年1月23日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年1月23日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	17,708,158,398	
コール・ローン等	1,049,495,255	
株式(評価額)	15,767,624,204	
未収入金	721,226,427	
未収配当金	169,812,512	
(B) 負債	518,036,364	
未払金	306,955,890	
未払解約金	211,079,528	
未払利息	946	
(C) 純資産総額(A-B)	17,190,122,034	
元本	17,922,067,253	
次期繰越損益金	△ 731,945,219	
(D) 受益権総口数	17,922,067,253口	
1万口当たり基準価額(C/D)	9,592円	

<注記事項>

- (注1) 元本の状況
 期首元本額 22,447,060,987円
 期中追加設定元本額 9,553,705,468円
 期中一部解約元本額 14,078,699,202円
- (注2) 元本の欠損
 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は731,945,219円であります。
- (注3) 期末における元本の内訳
 LM・ブラジル高配当株ファンド(毎月分配型) 4,072,438,353円
 LM・ブラジル高配当株ファンド(適格機関投資家専用) 13,849,628,900円

○損益の状況 (2016年1月26日～2017年1月23日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	867,420,735	
受取配当金	867,575,939	
受取利息	8,433	
支払利息	△ 163,637	
(B) 有価証券売買損益	7,864,140,519	
売買益	8,581,615,375	
売買損	△ 717,474,856	
(C) 保管費用等	△ 32,544,316	
(D) 当期損益金(A+B+C)	8,699,016,938	
(E) 前期繰越損益金	△10,112,764,421	
(F) 追加信託差損益金	△ 2,180,244,524	
(G) 解約差損益金	2,862,046,788	
(H) 計(D+E+F+G)	△ 731,945,219	
次期繰越損益金(H)	△ 731,945,219	

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。